

黄城

Ojyo News Letter Vol.55

CONTENTS

特集ようこそ先輩!!	1
会長あいさつ・副会長あいさつ	5
校長あいさつ	5
各支部活動報告	6
卒業50周年を迎えて	8
黄城会総会を終えて	9
黄城会総会に向けて	9
後輩からの一言	10
合格だ! 優勝だ!	11
会員寄付金の寄付者一覧	12
役員一覧、物故者、一般寄付金	13
会計報告	14
事務局通信	16

発行▶令和7年7月1日

発行所▶黄城会

発行人▶古賀 正人

印刷▶(株)音成印刷

特集 ようこそ先輩!!

「未来をデザインする Your future comes true!」

小林 彰則 氏

元インテル・コーポレーション 日本担当室長
経営コンサルタント

【講師紹介】

小林彰則氏は、宮崎大学で宇宙物理学を学び、卒業後にインテル株式会社でセールス・マーケティングに従事。その後インテル・コーポレーション米国本社へと移籍し、日本担当室長となりました。

帰国後は営業本部長や新規事業開発室長等を歴任し、退社。現在は経営コンサルタントとして日本と海外の技術発展のために日々活躍されています。

皆さん、今日はどうぞよろしく
 お願いします。今の小城高校に
 いらっしゃるのは600人くらいで
 しょうか。だいぶ小さくなりました
 ね。こうやってお話をしている、
 後ろの1年生の顔も分かりますね。

今日は、私が高校生だった頃か
 ら今までの50年を振り返りなが
 ら、皆さんに未来を感じていただ
 こうと思っております。

1章：高校時代の私

－なんでんかんでん－

視野を広げるために

まだ4階建ての校舎だった頃、
 小城高校に入学した私は、「なん
 でんかんでん」やっていました。
 最初の試練は入学式の日。私は持
 病の喘息の発作を起こして呼吸困
 難になってしまいます。4階の教
 室までみんなと一緒に上がる状
 態ではありませんでした。そんな
 苦しい初日から小城高校での生
 活が始まります。

初日こそ苦しい思いをしました
 が、実りの多い日々でした。一番
 大きかったのは、仲間づくり。1
 年生の時に原付の免許を取り、2
 年生の時には原付で芦刈町の友達
 のところに行きました。そこでバ
 イクの運転を教えてもらい、走り

回って自分の視野を広げました。

当時はPCもインターネットも
 ありません。スマホもありません。
 外の世界につながるの、自分か
 ら出て行くしかありませんでした。

挫折は挑戦のエネルギー

いろんなことに興味を持ち、常
 にやり続けて刺激をもらおう。そ
 のためには自分が出て行こう。出
 て行くためには仲間をつくろう。
 これを心に刻み、高校時代を過
 しました。そんな私は「なんでん
 かんでん」好きだったので、将来
 の夢もたくさんありました。外交
 官、弁護士、生物物理の学者、都
 市計画をする、などです。

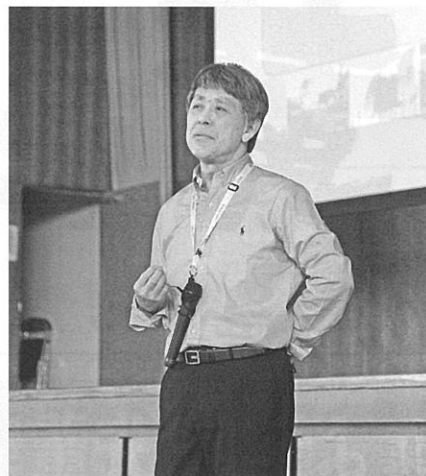
最終的に受験したのは、生物物
 理をするために医学部と、都市計
 画をするために建築科。この2本
 でした。しかし、失敗。実際に私
 が入学したのは宮崎大学工学部応
 用物理学科です。

2章：大学時代の私

－なっごとな－

大学時代も「なんでんかんでん」

高校生活は階段が上げられない状
 態から始まり、大学は第一志望で
 はないところに方向転換。しか
 し、この挫折はネガティブなもの



ではなく、私にとって大きなエネ
 ルギーを与えてくれました。挑戦
 しようという意欲を駆り立ててく
 れたのです。

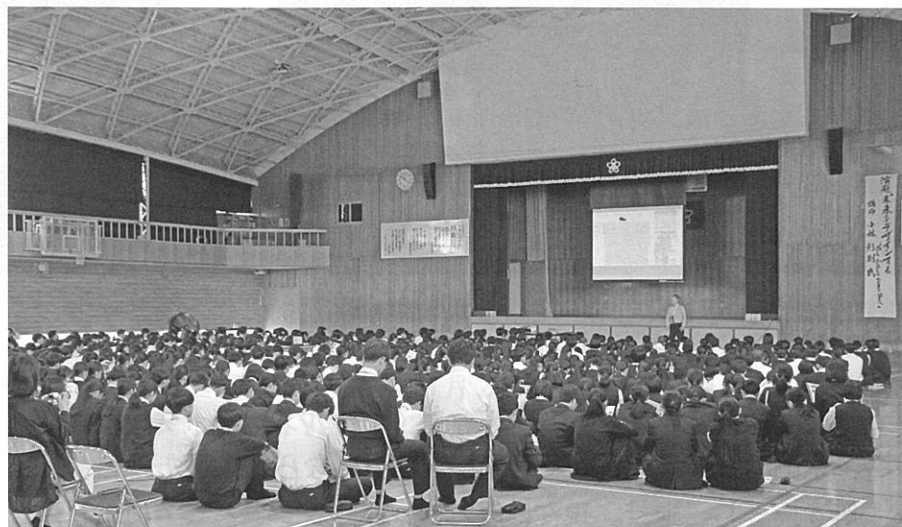
ちょうどそんな気持ちを察した
 がごとく、私に高校3年生の時の
 担任だった化学の先生から、年賀
 状でこんなコメントをもらいまし
 た。

「大学生として2年目。自己に
 打ち勝ち、全力を尽くしてのみ前
 途は開かれるものです。地方大学
 と侮らず、スペシャリストとなっ
 てください。ご多幸を祈ります」

それでそうしたわけではありま
 せんが、先生のメッセージをその
 まま実現していくことになります。

卒業には最後の卒論10単位を含
 めて160単位が必要ですが、私は
 182単位取っています。そんなに
 大学に毎日通っていたのかという
 と、実は同級生の中で一番大学に
 いまませんでした。

同級生は福岡や東京で都会暮ら
 しをしている中、私は宮崎で大学
 生活。当時の宮崎は人が少なく、
 活気がありませんでした。周りの
 人もそう言っていたので、ならば
 活性化すれば良いではないかと、
 ある団体を設立します。30人のス
 タッフを抱え、情報誌を発刊。そ
 の事業収入で新たなイベント活動



をしていました。だから、決して大学に張り付いていたわけではありません。

学業の方では、応用物理の中でも宇宙物理を専攻。宇宙物理の研究職として鹿児島県大隅半島の内之浦にある宇宙研究所に派遣されました。今はJAXAの組織になっているところ。当時、日本の宇宙物理は東京大学を中心とする宇宙研究所と、事業団としての種子島の2つに分かれていました。私は学生だったので、大学の機関として宇宙研究所にいました。ターゲットは、ここから6200万光年離れたところにある「NGC4151」。これは地球に一番近いブラックホールといわれています。約50年経った現在も、NASAや東京大学、京都大学が研究を続けています。

しかし、宇宙物理を続けていても結論は出せそうにありません。そこで、社会に出ることを決めました。

3章：変化の時代を生きる －つつらつ－ IT革命の担い手に

私は大学を卒業後、新卒でインテルジャパンに入社しました。この時の私の仕事は、CPUやコンピュータを売ることはありません。PCというものを知らない人たちに、PCを使えばいかに素晴らしい生活、素晴らしい時代になるのかを伝えることでした。つまり、マーケットを開拓することです。まさにIT革命そのものであり、現在は皆さんが情報で習う一部でもあります。

私が入社した1985年から、技術は目まぐるしく進歩しました。今

やどこでもインターネット、IoTの時代です。楽しいSNSや遠隔でお風呂を沸かすことなど、なんでもできます。最近ではChatGPTのようなAIも普通になってきました。

素晴らしい生活です。今、いろんな国が切磋琢磨して技術を磨き、世の中に出しています。高校生の皆さんにとって、インターネットはもとよりAIのある世界は既に当たり前ですね。まさに皆さんは、AIの夜明けと共に歩んでいるといえます。

日本でも、アメリカでも、佐賀でも、小城でも、世界とつながれる時代に皆さんはいるのです。

4章：グローバル視点とふるさと －ちゃあがつうなか－ 世界基準の情報教育

コンピュータを使う環境の整備を進めてきましたが、中でも教育現場には力を入れました。学校教育を変えないとコンピュータが浸透しません。コンピュータを活用する子どもたちを世界中で育てたい。そんな思いで進めてきました。

1997年には日本を含むOECDの38か国すべてが「21世紀型の能力が必要だよ」という認識でした。ヘテロジニアス（異質）の世界で生きられる人を育てないといけません。日本はホモジニアス（同質）の国。均質を求める教育しかしてこなかった中、異質の世界で異質の人同士がやり取りできる世界をつくる必要がありました。それについていくべく、2010年に教育方針が定まっています。

時代は進み、今年の共通テストから初めて情報科が必須科目とし



て入ります。それくらい日本の子どもたちを育てていくのに時間がかかりました。

今日、お話を聞いてくれた小城高校の皆さんは、世界と足並みが揃っています。インターネットを通じて、世界中いつでもどこでも同じものにたどり着き、それを使いこなす教育、判断、すべてが世界基準にできている素晴らしい高校です。

世界の人に英語で伝える

外資系企業に勤めてきた中で、世界文化を身につけることの大切さを学びました。世界文化イコール英語人文化だと思います。

英語人文化とは何か。そもそも、英語話者のうち74%が第2外国語として話しています。ですから、まず話しましょう。英語が上手か下手かは二の次です。大切なのは、話す中身を持っていることです。どんなに英語が上手でも中身がなければ伝わりません。伝えたいことを伝えようとする、その行為そのものが英語力です。それが自分のオリジナリティ、すなわち創意

だと思えます。

そのためにはとにかく本を読んで勉強し、高校時代を大切にしましょう。それを身につけたら何も恥ずかしいことはありません。「ちゃあがつうなか」英語人です。

心を開いて理解する

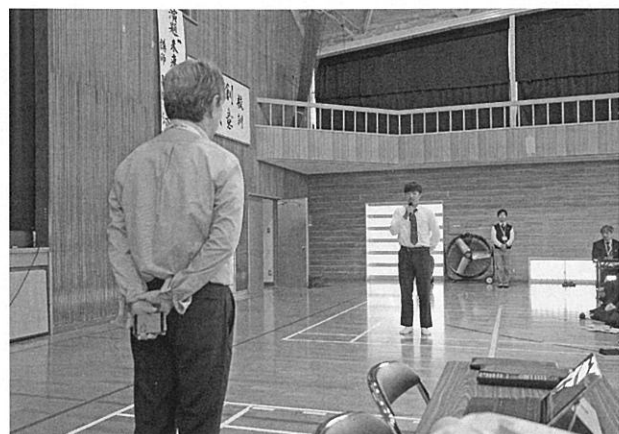
もう一つ大切なことは、自己を開放することです。自分から自分の扉を開くと、相手も開いてくれます。相手が開いてくれないからと自分を閉ざしていると、お互いの理解はなかなか進みません。開放して自分のオンリーワンを相手に伝えましょう。

小城高校の皆さんは、オンリーワンを意識しています。その中で、1つだけ覚えておいてほしいことがあります。自分と同じく、相手もオンリーワンの存在だということです。オンリーワンの相手のことを理解し、意見を聞き、自分を正直に保ってください。この誠意を維持することがとても大切です。

自分から心を開き、誠意を形成する。「求めよ」の一步先に行く、「与えよ、さらば与えられん」です。

5章：これから未来を描く皆さんへ —そいぎ— 感謝の気持ちを形に

これからどんどん未来に進んで



いく皆さんに、お願いしたいことがあります。将来、自分を形成してきたものに思いを馳せてください。支えてくれた人々、育まれた環境、小城高校で過ごした時間。さらには天山、佐賀平野、九州、日本。その時々でつくってきた仲間たち。自分が自分の力で学び取り、勝ち取ったもの。このすべてが、これまでもこれからも皆さんを形成し続けてくれます。

そのことに対してどう感謝していきますか？きっと、自分のできる形で貢献していけたら良いと思います。自分が歩んだ人生に感謝するなら、貢献したいと自然と思はずです。例えば私が「どうやって社会に貢献していくか」ということを考え始めたのは、アメリカに行った頃でした。お金、労働、知恵。いろんな協力の仕方がありますが、私はローイングというボート競技のボランティアをしています。また、佐賀県や小城市、大学時代を過ごした宮崎県、震災の時には福島県にふるさと納税をしました。そんなふうに、自分がお世話になったところに貢献してきたものです。

私は私を育ててくれた小城高に心から感謝していますし、今、母校をさらに発展し支え続けていただいている先生方にも感謝しています。在校生の皆さんも、後輩としてここに集まってくださり感謝しています。後ろに座っている黄城会の皆さん方も、ありがとうございます。そして今日、ここに皆さんの大先輩が来ていま

す。御年92歳、小城高校第4回卒業生。私の母です。そしてその横にるのがこの人生を支えてくれた私の妻で、小城高校第30回卒業生です。ありがとうございます。

校訓を胸に未来を描いて

グローバル化した現代。感謝を忘れず、講堂にある校訓の「創意」「挑戦」「誠実」を通るたびに見てください。創意 (Original)、挑戦 (Great Challenge)、誠実 (Integrity)、頭文字でOGIですね。皆さんは小城に感謝しながら、これからも未来を創ってくれるはずです。

これから未来を描く皆さんに、私が生きた時代を切り取りながら共有させていただきました。こんな人生もあるんだなと思って、皆さんこれから未来に歩いていってください。

皆さんの未来は誰かが作るものではありません。皆さん一人一人が自分の未来を描き、それに挑戦し、一步一步進んでいく。それこそが皆さんの人生になっています。いつまでも歩み続けましょう。ご清聴ありがとうございました。

Your Future Comes True !
そいぎ。

Profile

小林 彰則 (65歳)

小城高等学校 昭和52年度卒業
(高校30回卒)

1985年 宮崎大学を卒業
1992年 インテル・コーポレーション 日本室長に就任
2011年 日本スパンション株式会社 代表取締役社長に就任
2025年～ 現職



ごあいさつ

黄城会会長
古賀 正人

風薫る新緑の候、会員の皆様には益々ご活躍の事とお慶び申し上げます。

今年の黄城会総会は、例年の通り母校体育館において、5月3日「2」の期の当番で、高校52回音成信介実行委員長を中心に開催されました。

初夏を思わせるような素晴らしい天気のもと「友と共に～紡ぐ思い、繋がる心」をスローガンに掲げ、見事にその大役を務められました。そのご苦労に対し心より敬意を表します。

総会終了後、黄城教育会館の部屋を昼食の会場として提供しましたところ、配られた弁当や饅頭、アルコール(有料)であたかもミニ同窓会のように楽しんでいただけました。コロナ禍以来、会

員券販売にも苦勞している現状で以前のような会を催すのは無理だと思われる。会員券代金の値上げの話もありましたが、できれば現状のままでと思っています。

来年度の実行委員の「3」の期の皆様には、早急な体制作りをお願いします。

明治38年8月、小城中学校の後の黄城会となる同窓会が会員相互の親睦をはかり母校の発展に寄与することを目的に組織されました。今年120周年の節目の年を迎えました。現在、県内外に9支部があり、8月の関東支部総会から2月の多久支部総会まで各支部総会が開催され、全ての支部総会に参加することができました。故郷から遠く離れる程、ふるさと母校に対する熱い思いを感じながら、楽しい時間を過ごす事が出来ました。

今年も卒業式の前日2月27日に黄城会入会式を行い、193名の新会員を迎えることができました。現在は地元志向が強い傾向が見受けられ、遠方の支部ほど会員数の減少には頭を痛めておられます。会員の皆様には是非、各支部総会に出席してみてください。大歓迎される事と思います。創設から120年の歳月を経て会の運営も年々厳しくなっております。

黄城会の設立の目的を達成するために各事業が継続できますように、皆様のご協力、ご支援を宜しくお願いいたします。

結びになりますが、母校のさらなる飛躍と会員各位のご健勝、ご多幸を祈念いたしまして、会報発行の挨拶いたします。



ごあいさつ

黄城会副会長
安永 正

この度黄城会副会長を拝命いたしました高校31回の安永正(野球部OB会会長)と申します。

昭和51年、境校長時代に宮島光年先生が小城高校を甲子園に出場させたい

という黄城会の先輩たちの思いを受けて迎えられ、その年に私も入学をさせていただきました。

当時8名しかいなかった野球部へ入部し、部員一丸となって練習を重ね、昭和53年に開催された第60回全国高等学校野球部選手権大会の佐賀県予選で優勝し、第1回目(この年より県1校

代表制)の代表校として甲子園に出場させていただきました。

当時は先生方、友人をはじめ、地域の皆様にも大変お世話になりました。

この感謝の思いを込めて、微力ではございますが黄城会ならびに小城高等学校の発展のために精一杯努めてまいり所存です。



母校だより

校長
高尾 和範

佐賀県立小城高等学校校長の高尾和範(たかおかずのり)です。2年目となります。今年度もどうかよろしくお願い申し上げます。

さて、本校では平成8年度より「オンリーワン活動」を行っています。これは、一人一人の生徒が、かけがえない自分を発見し、社会に貢献できる人材を育成することを目指したプログラムです。

また、九州大学と連携協定を結んで、共生社会を担う人材の育成に取り組んでいます。この取り組みに限らず、生徒たちは高校生活で多くのことを学び、他の人を大切に思う思いやりの心を育み、立場の弱い人に対しても優しい社会づくりに貢献できる人材として成長しています。

令和6年度の学業報告(令和7年度入試結果)及び、部活動の成績についての詳細については、後の「合格だ!優勝だ!」をご覧ください。今年度は、

京都大学をはじめとして九州大学、佐賀大学など多くの生徒が合格の栄冠を勝ち取ってくれました。京都大学合格は、26年ぶりとなります。また、部活動では、野球部が春の選抜の21世紀枠に佐賀県高野連より推薦されました。吹奏楽部は、佐賀県吹奏楽大会において金賞を受賞し、九州高等学校総合文化祭福岡大会において、佐賀県代表として見事な演奏を披露しました。その他にも多くの部活動で素晴らしい成績を残してくれました。先輩方が残していただいた「文武一途」の精神は、今もお受け継がれています。

ところで、現在の小城高校は、校舎改築により、教室棟も新しく生まれ変わりました。正門付近も美しく整備されています。時折、久しぶりに小城の土地を訪れた黄城会の方が懐かしそうに学校にいらっしゃいます。校舎は新しくなりましたが、樹齢600余年のクスノキや昔の校門などは今もなお残っています。ぜひ小城にお立ち寄りの際には、母校を訪ねてきていただければ幸いです。

武道場の東側には20メートルほどに渡って芝桜を植えています。これは、

黄城会会員様のご寄付による浄財を使わせていただき、整備させていただきました。4月には、一斉に咲きそろう、ピンクの絨毯のようになります。登校する生徒や小城公園の桜を観に来られた人々に喜ばれています。感謝申し上げます。

最後になりますが、黄城会の皆様方には物心両面にわたりいつもご支援いただき、この場をおかりして御礼申し上げます。今後とも温かいご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



支部活動報告

令和6年度



関東支部

黄城会関東支部令和6年8月25日総会報告

今年の総会は120名参加。パリ五輪と同様に関東総会も盛会に運営が出来て満足。10:30から幹事が集い役割分担で熱す。11:30からピーク、フル稼働の中で、12:00開会司会は32回川副君、会長挨拶・会計報告・会計監査と最小の時間で総会儀式を終え来賓の挨拶。古賀会長・高尾校長と中京・関西支部と挨拶が続き、講演は19回角田東海大学院教授が専門分野と裁判官と弁護士を育てた子育て論「褒めて育てる・毅然と育てる」と。14回七田前副会長が小城鍋島三代記50冊も贈呈して頂き経緯説明後に会員での抽選会で盛り上がりしました。

2部の司会を37回川崎ゆき子さんが初のリードを務める。来年担当の52回音成委員長が同期6名も動員してくれ関東在住の4人も関東支部名簿に新加入。8回七島幹事が6人を引き連れて高校時代からの野球の武勇伝を披露。1月に急逝遺作・校歌のピアノ演奏下野先生の指が軽快に舞う画面を見つめ全員で校歌斉唱。最後は四国お遍路を仕上げた井手副支部長の挨拶と万歳三唱で3時間の総会が立派に終わりました。

(関東支部長 高校19回 村上 徹)



中京支部

黄城会中京支部活動に日頃より多大なご協力を賜り誠にありがとうございます。

令和6年も中京支部では会員様の活動ご参加維持のために様々な施策を行って

おります。今年はこれまでより一段と中京佐賀県人会様の多大な協力を得ながら佐賀県出身または佐賀県ゆかりの方々など間口を広げた、「天山会」を立ち上げ、黄城会中京支部と並行して懇親会や花見会、サガン鳥栖応援観戦など各イベントに向けて皆様のご参加を募って参りました。

その甲斐もあり令和6年の中京支部総会は9月21日に何とか29名のご参加を賜り、少人数ではありますが例年に劣らぬ盛会となりました。年一度、同窓の皆様と過ごすこの楽しい時間は最高ですね。

現在中京支部では兼ねてよりのテーマである、会員様を1名でも多く、または継続してご参加頂けるよう様々な施策を行っております。

前述の通りお花見会やサッカー観戦会、その他定期的な懇親会、中京佐賀県人会を軸とした佐賀県繋がりのお睦会体のイベントには積極的に参加するなど出来ることに最大限の努力をしています。

そこで会報をお読みいただいている皆様にお願ひでございます。愛知県・岐阜県・三重県など中部地区にお住まいの小城高校卒の方や佐賀県繋がりの方の集まりに参加しても良いと思って頂ける方をご存じのようでしたら中京支部または本部までご一報頂けると幸いです。

今後も意義ある、楽しい支部運営を邁進しますので皆様方のご助言及びお力添えを何卒宜しくお願い申し上げます。

(中京支部事務局長

高校40回 堤 淳)



関西支部

コロナ禍が静まり2年目の令和6年度関西支部総会を9月22日に道頓堀ホテルにて開催しました。まだまだ残暑厳しい中でしたが前年より16名増の総勢53名の参加をいただき活気溢れる総会を催すことが出来ました。昨今の物価上昇の中、少しでもリーズナブルな参加費で総会を楽しんでもらう目的で令和6年度は経費削減と業務の効率化を図る試みを始めま

した。今回の支部会員への案内状送付は600通を超えていますが、その母数からすると参加者の数は低迷していると言わざるを得ません。

ただし今回の参加者増の一番の要因は、返事が遅れている会員さんへの電話フォローでした。支部長を先頭に役員、卒回期幹事が各々に分担を持ち電話での参加勧誘を行い参加者の積上げを行った努力の結果です。

新しい試みとしてはYouTubeチャンネルの運用、LINE公式アカウント開設準備などを計画しており支部活動の実働を広く知ってもらおうツール開拓を進めていますが、やはりベースとなるのは人と人のつながりを広げていく地道な活動の重要性を痛感した一年でした。

(関西支部事務局長

高校27回 岡本 正史)



福岡支部

日頃より黄城会福岡支部の活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

好天に恵まれた中、古賀会長、徳久副会長をはじめ、多くの皆さまにご参加いただき、心より御礼申し上げます。

令和6年度福岡支部総会は、支部役員の皆さまや諸先輩方のご助言をいただきながら、51期福岡支部実行委員会一同が一丸となって準備を進め、おかげさまで盛会のうちに開催することができました。

コロナ禍以降、縮小傾向にあった総会を、昨年よりさらに盛り上げ、次の世代へとしっかりとバトンを渡せるよう尽力してまいりました。その結果、皆さまの笑顔を見ることができ、大変嬉しく感じております。

今後は、次回総会に向けて、先輩としてできる限りの助言・サポートを行いながら、黄城会福岡支部のさらなる発展に努めてまいりたいと存じます。

今後とも変わらぬご支援・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

(福岡支部

高校51回 松尾 俊幸)



長崎支部

長崎県在住の黄城会々員数は名簿上は180名。2015年度の長崎支部再発足以来支部総会は、地理的条件を考え県央の諫早市で実施してきました。ただ24年度総会は前年度総会で佐世保市からの出席がゼロであったことと、長崎市からの出席者の増加を期待し、また時期も従来の1月から季節の良い10月に変更して、初の長崎市開催を企画しました。

諸事情を考え117名に総会案内状を出し、返信ハガキの到着数は44.4%の52通。総会出席数は20名で前年度同様過去の最少数。そのうち黄城会役員その他を除き、純粋な長崎県在住の出席数は13名と過去最少。期待の長崎市からの新規出席者は1名。このような数字が長崎支部がかかえている実情を端的に物語るものです。

それでも24年度総会では91歳の江頭駿治さんをはじめ全員で、次年度黄城会総会の実行委員のスライドショー、これで4回目となる多久市郷土資料館々長藤井伸幸さんのふるさと通信（今回は2023年に多久市で発見された“埋蔵（埋納）銭”に関するもの）、連想式福引き、頭の体操、15回生永尾薫さんのハーモニカ演奏、校歌斉唱などを楽しみました。

（長崎支部事務局長

高校10回 大石 太）

佐賀支部

コロナ禍で3年間支部総会を開催出来なかったことが、支部活動資金を窮屈にしまい令和6年度の支部総会は、会費を上げざるを得ませんでした。そのため参加者が、減るのではと予測しましたが、何とか100名の参加を得て安堵しました。本年度でもって退任される江里口支部長から67年の歴史ある佐賀支部を引き続き盛り上げてもらいたいとの挨拶がありました。また高尾校長より高校の現状報告、また古賀黄城会会長からは本校総会の会費は値上げやむなしとの発言がありました。諸経費の値上がり、同窓会活動への重い負担になっていると思います。懇親会では、昨年に引き続きフラダンス、ジャンケンゲーム、お楽しみ抽選会と和やかなうちに総会が進行しました。52期の実行委員のメンバーが快く協力いただき事務局として大変助かったことを強くアピールしておきます。佐賀支部と

しても、少しでも本校の総会に協力しようとの気持ちになりました。

（佐賀支部事務局長

高校22回 徳久 英二）



唐津支部

今年度は昨年度に引き続き、支部総会を令和7年2月に開催することができました。

支部総会では、本部・学校・佐賀支部・新旧総会実行委員会からのご挨拶や本校生徒の近況、支部活動の報告、懇親会では、参加者全員の自己紹介、じゃんけん大会、終わりには恒例の校歌斉唱を行いました。

22名の小さな支部総会ですが、卒業後70年を経過した高校6期の大先輩から高校46期の会員まで、過ごした時期は半世紀の違いはあるものの小城高校3年間の楽しい話で懇親会は終了しました。

鮎川支部長をはじめ役員で支部総会参加者を増やす努力を行っています。45歳を超えた高校53期までの約160人の支部会員に往復はがきを発送しますが、返信は40通で関心が少なくなっているようです。

今年度も令和8年2月に、支部総会を開催し、会員相互の交流を行いますので、多くの支部会員皆様のご参加をお待ちしています。

（唐津支部事務局長

高校43回 濱村 宜弘）



多久支部

第37回黄城会多久支部総会は、支部役員や諸先輩方のご助言をいただきながら、新高51回期多久支部実行委員一同が一丸となり準備を進め、令和7年2月9日（日）に開催しました。総会は30名の会員の皆様の参加があり、多久支部相談役横尾俊彦多久市長、黄城会古賀正人会長、小城

高等学校高尾和範校長からご来賓の挨拶をいただきました。総会では事業報告及び2025年黄城会総会の案内がされ、総会後の懇親会及びアトラクションでは、多久ミュージカルカンパニーの公演、鬼木曙生様（新高7回期）、片岡道子様（新高19回期）から舞踊の披露をいただき、最後に来年の支部総会での再会を約束し、盛会裏のうちに閉会となりました。

末筆ながら、黄城会の益々の繁栄と会員皆様のご健勝を祈念しつつ、以上ご報告といたします。

（多久支部実行委員長

高校51回 徳永 雅己）

県庁支部

県では、令和6年秋に「SAGA2024（国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会）」を開催しました。

このSAGA2024は、「国体」から「国スポ」へと変わる、自由、楽しさ、多様性など、スポーツの持つ「チカラ」を信じ、様々なことにチャレンジした新しい大会となりました。

また、「する」「観る」「支える」というスポーツに関わるすべての人が主役となった大会でもありました。スポーツのもつ楽しさ、素晴らしさを実感できた大会となりました。

本大会の開催に当たっては、多くの黄城会県庁支部のメンバーが事務局の一員として、あるいは大会本番での運営スタッフの一員として、大会を盛り上げ・支える裏方として精一杯努めてまいりました。

こうしたSAGA2024が、関係各位のご尽力とご協力により盛況のうちに終えることができましたことに改めて感謝申し上げますとともに、黄城会の皆様にも様々な場面で格別なご支援・ご協力をいただきましたことに改めてお礼申し上げます。

さて、県庁支部の活動としましては、令和元年度以降、新型コロナの影響等もあって活動を縮小していましたが、令和6年度に支部役員を一新したことを機に、規模は小さいものの有志による懇親会を令和7年3月に開催し、数年ぶりに親交を深めました。

支部の役員体制を一新したことや活動縮小の期間が長引いたこともあり、従前のような活動再開にまでは至っていませんが、令和7年度において、令和元年度以来となる総会の開催を目指したいと思っています。

（県庁支部

支部長 高校39回 井手 宣拓
幹事長 高校39回 高塚 光明
蔵木 直）

27回生 卒業50周年を迎えて

黄城会 なつかしいわが青春の高校時代よ！



高校27回
横尾 俊彦

伝統ある佐賀県立小城高校を卒業して50年。今年の黄城会総会会場に集えた同窓生66名は壇上で会場の皆様から祝福を受けました。

体調や都合で参加叶わずの仲間もあり、みんなも残念で、次の再会を楽しみにします。皆の健やかなことを祈りつつ、感想を記します。

◎青春の想い出

半世紀＋3年前の入学時は、学区制時代で小城郡4町（小城町、三日月町、牛津町、芦刈町）、多久市、佐賀郡大和町から通学でした。印象的なのは、中学時代バスケットでライバル校の選手と語らう喜びです。

全員が幾多の風雪をものともせず懐かしい校舎で過ごしました。春は桜が美しく、初夏は新緑に燃え、秋は金木犀の香り漂う環境。その空気感の中、教室の窓辺から眺める合服姿の女子生徒全てが美しく見えたものです。（そう語ると同級生に冷やかされましたが素直な印象です。）

体育祭の仮装パレードで初の女装体験、文化祭では1週間毎朝、文化祭新聞を印刷して全校の机に配布。フォークソング全盛期で賑わった。でもなぜか三年生男子修学旅行なしで、先輩の影響とのこととはいえ、なんと納得困難でした。

時代はおりしも変動為替相場制導入（ドルショック）やオイルショック、あさま山荘事件、東大安田講堂事件などの激変期。それでも各々進路に向けて頑張ったものです。

◎ビックプロジェクトを終えて

卒業後25年目、第101回黄城会総会担当年度を迎え、実行委員会を急ぎ立ち上げて準備に励みました。雨の日に、天龍院・天山君の寺院に集まったの打ち合わせでスタート。

最初に感じたのは「誰がこんなたいへんな事業を始めたか」の困惑と重荷感。引き継ぎ資料は膨大な紙の束。「まずはこれをフロッピー・データ化しよう。後輩のためにも」。その資料を読み込み、やるべき事をリストアップ。運営準備はもとより佐賀新聞紙面広告6面もありました。その寄付集めは大変で、広告寄付をお願いに行くと「去年の100回大会に充分に出したよ」の声も多くて、難儀したものです。101回目だからかと思いつつ、イマイチ（101）といわれぬよう頑張ろうと切り替え、打ち合わせや準備を重ねました。

総会前日には会場設えも整えて本番リハーサル。長いビニール紐を張って椅子を縦横正確に整然と並べ、司会者も校歌斉唱も本番同様に行いました。さらに県立博物館から一時帰還の青木繁画伯の名画「朝日」の保管護衛、弁当手配と配布など、やるべき事が山積でした。それらをひとつひとつ乗り越え成功に結べたのは同窓生チームワークの賜物！！。

高校生時代には必ずしも親しくなる縁がなくても、同窓生として自ずと語り合い協力し、社会人経験と絆の縁を見出し合いました。おかげでお互い心にかけて連携協力など、得難い体験を共有できるのも黄城会の御縁と醍醐味。ここまで思っていたイベントは実に貴重です。

◎周りの人を少しでも笑顔に

今年5月3日の登壇の折、古賀会長から卒業50周年のお祝いとともに、もっと社会貢献して頑張れとの激励を頂きました。在校生の吹奏楽部・合唱部の演奏も素晴らしい響きで大歓声でした。

総会の日の午後の同窓会にはさらに人数も増え一段と盛況に。冒頭で物故者となられた恩師と同窓生の御霊に黙祷を捧げて始まり、川柳にある「同窓会 酒と薬の飲みくらべ」でした（笑）。日々健やかでありたい願いとともに、高校時代の出逢いの縁で集える小城高校同窓会に感謝しつつ談笑の華が咲き、いつの間にか旧姓で呼び合っていました。

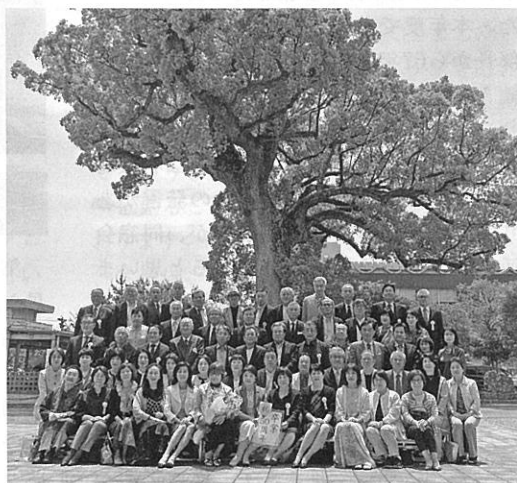
これからの同窓会はお互いの安否確認、近況共有の機会になるでしょう。近くにあっても遠くにあっても、お互い心通わせたいものです。

そして、微力ながらも、周りの人を少しでも笑顔にできる存在、そんな生き方ができるようお互いに努めるのも意義あるものと感じます。

黄城会の皆様もお健やかに！

そして一緒に、快活な人生100年時代を頑張って生きましょう。

▽写真は黄城会総会と大楠の樹の下での記念撮影



黄城会総会を終えて

2025年度黄城会総会実行委員会

実行委員長 音成 信介（高校52回）



総会を通して繋がる絆。

今回、当番会期としてこの黄城会が大切な会だと感じたことが2つあります。

1つ目は黄城会の繋がります。8月の関東支部総会を皮切りに、各支部総会に52期の仲間と共に参加させていただきました。そこで出会った先輩との交流を通じて全国に黄城会の繋がりの大きさと、小城高校の思い出や同窓の繋がりの場を大切にすることで、黄城会が特別なものだという事を知る機会になりました。

2つ目は同期との繋がります。私たちの会期は、卒業後25年、全体であつまる機会がほとんど無く、当番

会期をきっかけに52期の同窓会が初めて開かれました。

年を経ても、社会に出て、高校のときの関係に一瞬で戻れることができ、懐かしく嬉しく感じました。そして、実行委員会において友人たちがするから一緒にやるといって、たくさんの仲間に協力をいただき、無事に総会を迎えることができました。

高校生の時、担任の井上先生から「高校の友は一生の友」だといわれたことを思い出し、高校当時は実感なかったのですが、今では本当にその通りだと思います。

本総会のスローガンである、友と

共に紡ぐ想い、繋がる心は、この一年、当番会期を通じた、私たちにとってこれからの黄城会への想いでした。

最後に2025年の総会の開催にあたり古賀会長をはじめ、黄城会本部役員の皆様、各支部長の皆様、黄城会先輩方、並びに高尾校長はじめ小城高校の先生方、関係各位のご支援、ご協力賜りに、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

2026年度の黄城会総会に向けて

2026年度黄城会総会実行委員会

実行委員長 永田 康（高校53回）



令和8年度（2026年度）黄城会総会実行委員長を務めます永田康と申します。

私たち53期の実行委員は昨年末に52期の先輩から「そろそろ準備のために同級生に声掛けを…」と話があったことから始まりました。驚くべきことに卒業のときに各クラスで決めたと思われる黄城会担当の名簿が私たちの年代だけわからないという文字どおりゼロからのスタートでした。そこから数人で実行委員長のほか役員を決め、「何とかやってみよう！」と先日の総会に集まりました。

久しぶりの母校の校舎は新しくなっていました、大きな楠、武道場、体育館はあの頃のままでした。

集まった数人の同級生もあの頃のままだ、実行委員を務められた52期の先輩方もあの頃のまま、そして当時のあだ名で呼びあい、久しぶりの再会を喜び合う会場に集まる皆さんの中には、あの頃を過ごした笑顔がありました。何をしたら良いのかほとんどわからないままに参加した総会でしたが、先輩方の笑顔を見て、改めて黄城会の絆、歴史を再認識したところです。

来年2026年の総会は53期が務めさせていただきます。私たちは1998年に入学し、世はバブル崩壊後からの不況が続いていました。学生の私たちには景気の状態など気にすることはありませんでしたが、ある先生から言われた「お前たちが20歳過ぎて

就職する頃は少しは景気が良くなっているだろう！」という言葉とは反対に、景気はさらに悪化していききました（笑）

しかし、私たちは2001年卒業という、21世紀の初めての小城高校卒業生です。新たな時代の幕開けと共に学び舎を後にし、巣立っていき、混沌の時代を若手社会人として駆け抜けてきた私たちが再び黄城の地に帰り、皆さんをお迎えしたいと思えます。全国の先輩方とのご縁を大切に、また「あの頃」の笑顔で皆さんが再会できるよう準備してまいりますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

「仲間と先生に支えられて」

江嶋 寛人（佐賀大学理工学部情報ネットワーク工学科）

小城高校での日々は、学問に励むだけでなく、人として大きく成長する大切な時間でした。推薦入試に臨む前、将来への不安や進路選択に迷っていた私にとって、温かく見守り導いて下さった先生方の存在は何よりも心強かったです。特に山岸先生と古川先生は、私の個性や強みに寄り添いながら、志望理由のまとめ方や面接の受け答えを丁寧に教えて下さいました。そのアドバイスは、推薦入試に向けた準備期間中、私の自信となり、これからの未来への大きな一歩を踏み出す原動力となりました。

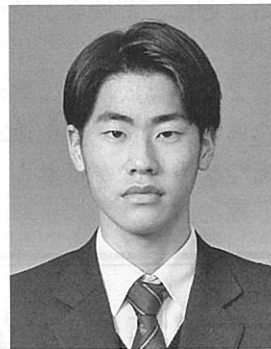
また、日々の学校生活の中で共に学んだ友人達も、私にとってかけが

えのない存在です。一緒に問題に取り組んだり、部活動で互いに切磋琢磨したりする中で、彼らとの絆は深まっていきました。何気ない会話の中で励まし合い、共に未来の夢を語り合った時間は、推薦入試の不安を和らげ、支え合う大切さを実感させてくれました。友人達との笑顔や助け合いは、勉強や進路の悩みを乗り越える為の大きな力となりました。

こうした先生方と友人達に支えられた経験が、私が情報ネットワーク工学科への進学を決意する大きな要因となりました。今後も、高校で培った知識や友情、そして先生からの温かな励ましを胸に、新たな学びと挑戦に全力で取り組んでいきたいで

す。

振り返ると、小城高校での数々の経験が、私の道標となりました。3年5組をはじめ私と関わってくれた皆さんや先生方、18年間ずっと支えてくれた両親には感謝の気持ちでいっぱいです。これからは、これまでの経験を活かし社会貢献することを目指して、一步一步着実に歩んでいきます。



大好きな小城高校

若林 愛華（佐賀大学 教育学部・小中連携（初等教育）コース）

小城高校で過ごした3年間はあっという間でした。卒業した今しみじみといい人たちに囲まれ、様々なことに挑戦でき、自分自身も大きく成長できたとても楽しい3年間だったと感じています。

特に高校生活で一番多くの時間とともに過ごしたクラスメイトとの思い出がたくさん蘇ってきます。みんなで一つの物を作り上げた文化祭や変なゲームをたくさんした修学旅行、本気で臨んだクラスマッチや休み時間などの何気ない時間も強く思い出に残っていて、ずっとこんな日々が続けばいいのと思うくらいでした。卒業してはばらになるけどこれからも絶対会おうね。

部活動では寄り添って指導してくださる顧問の先生や、頼もしい先輩方、信頼している同級生、仲の良い後輩達に囲まれ、居心地のいい温かい環境の中で日々プレーをすることができました。この経験は自分の人生に必ず必要なピースだったと思います。

そして無事高校を卒業し、進学することができたのは、いつもそばで応援してくれた両親や手厚い指導をしてくださった先生方のおかげだと思います。ありがとうございます。

わがままでうるさい私は様々な場面面で迷惑もかけたと思いますが、3年間よくしてくれてありがとうございました。このような環境を与えて

くれた小城高校に入学して本当に良かったと思っています。今の自分がいるのは今まで関わってくれた全ての人のおかげです。これからも人との関わりを大切に、みんなから愛されるような人になっていけるように頑張っていきます。3年間いい人たちに恵まれて幸せな高校生活でした。みんな大好きです。



合格だ！優勝だ！令和6年度 学業報告・部活動の成績

合格状況 ()内は過年度卒

【国立大学】北見工業大学1/京都大学1/広島大学1/山口大学3/徳島大学(1)/九州大学1/九州工業大学1/福岡教育大学2(1)/佐賀大学28/長崎大学1/熊本大学5(1)/大分大学2/宮崎大学2/鹿児島大学1

【公立大学】下関市立大学1/山口県立大学1/高知工科大学1/北九州市立大学5/福岡県立大学1/長崎県立大学9/宮崎県立看護大学1

【私立大学】東海大学6(1)/東京農業大学1/同志社大学2/関西学院大学2/関西大学(1)/梅光学院大学1/九州共立大学2/九州国際大学2/九州産業大学19/久留米大学69/久留米工業大学16/産業医科大学1/西南学院大学8/筑紫学園大学15/中村学園大学7(1)/福岡大学52(2)/福岡工業大学16/福岡女学院大学4/日赤九州看護大学1/聖マリア学院大学1/福岡国際医療福祉大学3/西九州大学20/長崎国際大学4/長崎外国語大学2/崇城大学12/別府大学1/立命館アジア太平洋大学2/その他の大学12(1)

【短期大学】佐賀女子短大4/中村学園大短大2/九州産大造形短1

【その他】文科省外大学校2/高等看護学校15/その他専門学校11/就職(公務員)14

部活動の成績

【体育部】

1.柔道

○令和6年度第62回佐賀県高等学校総合体育大会柔道競技/女子団体 3位/女子個人 3位 江口 凛/女子個人 3位 神近樹愛/女子個人 3位 秀瀬あゆな/女子個人 3位 野口結生

○令和6年度佐賀県高等学校新人柔道大会/個人 第2位 秀瀬あゆな/個人 第3位 福田まみ/団体 第2位/個人 第2位 野口結生/個人 第3位 久原 凛

○令和6年度全国高等学校柔道選手権佐賀県大会/女子個人 3位 秀瀬あゆな/女子個人 3位 福田まみ/女子団体 3位/女子個人 3位 久原 凛

2.剣道

○令和6年度第58回佐賀県高等学校春季剣道大会/男子個人 2位 藤瀬 真

○令和6年度第62回佐賀県高等学校総合体育大会剣道競技/男子個人 ベスト8(九州大会出場) 藤瀬 真

3.弓道

○令和6年度佐賀県弓道学年別大会高校2年の部/女子個人 3位 宗田愛来

○令和6年度佐賀県高等学校弓道遠の大会/男子団体 第3位/女子団体 第3位

4.陸上

○令和6年度佐賀県高等学校新人体育大会陸上競技大会/女子個人 女子400mハードル第3位 山下和夏/男子個人 男子400m第1位 岩本成見/女子個人 女子走高跳第1位 米田七海

○令和6年度第62回佐賀県高等学校総合体育大会陸上競技/女子個人 女子走高跳第2位 米田七海

○第60回国見台競技選手権大会/女子個人 女子走高跳第1位 米田七海

○第79回佐賀県陸上競技選手権大会/

女子個人 女子走高跳第2位 米田七海

5.ソフトテニス

○YONEMURA CUP/男子団体 第3位

○令和6年度佐賀県高等学校新人ソフトテニス競技大会/男子個人 ベスト8(九州大会出場) 大川内理起

【文化部】

1.書道

○第75回佐賀県高等学校席書大会/特選(全九州福岡大会出場) 片淵良咲/特選 木村夏葉/特選 古賀美智/特選 川内和奏/特選 山口莉奈/特選 深川結愛

○岐阜女子大学主催第23回全高書道展/佐賀県教育委員会賞 片淵良咲

○第8回全九州高等学校総合文化祭福岡大会 書道部門作品展/九州高等学校文化連盟賞 片淵良咲

○第36回佐賀県高等学校総合文化祭書道展/特選 川口倫奈/特選(全国大会出場) 古賀美智/特選 秀島 凛/奨励賞 山田麻衣/特選 山口莉奈/特選 深川結愛

○第29回全日本高等学校コンクール/準黄庭堅賞 川口倫奈/行草書創作賞・準吳昌碩賞 上瀧正晃/硬筆賞・準枯樹賦賞 森永菜々実/団体 優秀校賞(第4位)

○第32回中林梧竹翁顕彰席書大会/梧竹記念館賞 吉田紗来/奨励賞 深川結愛

○第32回佐賀県高等学校書道展/新人賞 古賀美智/優秀賞 山田麻衣

○第49回佐賀県高等学校臨書展/特選 吉田紗来/特選 古賀美智/特選 久保碧唯/特選 山口莉奈/特選 深川結愛

○第48回佐賀県書作家協会展/その他個人 書作家協会賞 古賀美智/書道教育連盟賞 上瀧正晃

○第40回高円宮杯日本武道館書写書道大展覽会/日本武道館理事長賞 上瀧正晃

2.美術

○第77回佐賀県高等学校スケッチ大会/奨励賞 田中心春/奨励賞 村田桃子/奨励賞 山口瑠璃/奨励賞 古江 憧子/準特選 田中沙依

○令和6年度第36回佐賀県高等学校総合文化祭美術・工芸展/デザインの部 佳作 村田桃子/準特選 山口瑠璃/絵画の部 佳作 古江憧子/佳作 阿久津心渚

○第63回佐賀県高等学校デッサンコンクール/静物の部 奨励賞 阿久津心渚

3.放送

○第71回NHK杯全国高校放送コンテスト佐賀県大会/奨励賞 山口露葉/奨励賞 松尾菜緒

○第50回佐賀県高校放送コンテスト/奨励賞 木下汐音

○第49回佐賀県高校放送コンテスト/奨励賞 蘭 琴羽

○第25回アバンセ杯放送コンクール/男子個人 審査員特別賞 兵動黎汰

○第48回佐賀県高校放送コンテスト/奨励賞 兵動黎汰

4.吹奏楽・合唱

○第65回佐賀県吹奏楽大会高等学校Aパート/団体 金賞

○第50回佐賀県吹奏楽アンサンブルコンテスト/団体 木管三重奏 銀賞

○第8回全九州高等学校総合文化祭福岡大会吹奏楽部門/団体 九州高等学校文化連盟賞/パフォーマンス賞

【その他】

1.ライフル射撃

○令和6年度第43回全国高等学校ライフル射撃競技選抜大会/個人 ビーム・ピストル少年男子立射60発競技 第5位 只野奏大

○令和6年度全九州ライフル射撃競技大会/個人 BP60J 第5位 只野奏大/個人 AP60 第5位 只野奏大

○2024年度第48回九州高等学校ライフル射撃競技選手権大会/個人 エアピストル少年男子60発競技 第2位 只野奏大/団体 ビーム・ピストル男女ミックス競技 3位 佐賀県Bチーム

○2024年度九州北部ライフル射撃競技大会/個人 AP60MW 第5位 只野奏大

○2024年度第49回全日本スポーツ射撃競技選手権大会/個人 ビームピストル男女60発競技 第1位 只野奏大

○第2回全日本高校生スポーツ射撃競技選手権大会/個人 10mエア・ピストル男子40発競技 第1位 只野奏大

○令和6年度JOCジュニアオリンピックカップ大会 第35回ISSFジュニアライフル射撃競技選手権大会/個人 ライフル射撃競技BP60J種目 第6位 只野奏大

○令和6年度全国ジュニアスポーツ射撃競技大会/個人 BP60MJ 第3位 只野奏大

○第78回国民スポーツ大会 ライフル射撃競技/個人 ビーム・ピストル少年男子60発競技 只野奏大

○2024年度ジュニアエアガン大会/個人 10mエア・ピストル少年男子60発競技 第1位 只野奏大

○東アジアユースエアガンチャンピオンシップ/団体 エアピストル団体男子 3位

2.自転車

○2024年熊本県・福岡県・長崎県・佐賀県自転車競技選手権大会/男子個人 ポイント・レース 第6位 吉中美空

○男子個人 スクラッチ 第3位 吉中美空/男子その他 4km チーム・パーシュート 第1位(佐賀県チーム) 吉中美空

○第62回佐賀県高等学校総合体育大会自転車競技/男子個人 スプリント 第3位 吉中美空/男子個人 ケイリン 第2位 吉中美空/男子個人 IP(インディヴィデュアル パーシュート) 第2位 吉中美空/男子個人 1kmタイムトライアル 第2位 吉中美空

○令和6年度全九州高等学校体育大会男子 第57回全九州高等学校自転車競技大会/男子個人 3km IP(インディヴィデュアル パーシュート) 第6位 吉中美空/男子個人 スクラッチ 第5位 吉中美空

○男子個人 模範競技者賞 吉中美空

3.音楽

○第48回佐賀県高等学校音楽コンクール金管楽器部門/銅賞 平 のの

4.テコンドー

○第17回JOCジュニアオリンピックカップ 第17回全日本テコンドー選手権大会/女子個人 第3位 納富 悠

5.暗算

○第3回 Winter Gup in 大町暗算競技大会/個人総合競技 高校生の部 優勝 福田早希/フラッシュ暗算 高校生の部 優勝 福田早希/読上げ暗算 高校生の部 第2位 福田早希

6.少林寺

○令和6年度佐賀県高等学校新人少林寺拳法大会/男子個人 単独演武 男子 2位 原田裕基

令和6年度会員寄付金の卒業回期別寄付者一覧（敬称略）

会員の皆さまには、日ごろから黄城会の円滑な運営に対しご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当会は「会員相互の親睦を図り、同時に小城高等学校の発展に寄与すること」を目的にした事業を行っておりますが、建築後37年目の黄城教育会館の維持管理及び将来の改修費用並びに育英奨学金資金の確保のためにご寄付をいただきました。心から感謝申し上げます。

ご協力いただいた寄付金につきましては、お願いした趣旨のところに有効に活用させていただきます。

ここに感謝の意を込めてご尊名を掲載させていただきました。また、この会員寄付金は、今後も継続して計画させていただきますので、なにとぞご協力賜りますようお願いいたします。

小城高等学校同窓会 黄城会会長

(高女20)	太田(川原田)京子	檜 崎 進	川原(石田)潤子	山北(川内丸)郁子	(高校28)	(高校41)
林田(真子)恵美子	古 賀 政 利	石 隈 一 彦	大 坪 正 明	北 島 秀 行	寺西(井手)秀佳	納 富 健 二
(高校4)	西岡(香田)敏子	福島(真子)治枝	吉次(豆田)悦夫	江口(北島)八千代	小 林 智	井 手 伸太郎
江里口 勲	新 郷 道 明	平 美 紀	(高校19)	(高校22)	武 久 晃 弘	川 口 徳 隆
(高校5)	岸 川 英 俊	一村(腹巻)喜久子	田 中 英 雄	江 頭 朋 彦	武田(山田)郁子	飯 盛 宏 徳
堤(三好)澤子	志 波 保 彦	岩 崎 淳 子	森永(立石)都和子	千葉(山本)寿雅子	今 泉 真由美	山崎(黒岩)史子
(高校6)	松 永 政 治	(高校15)	百武(水田)好光	徳 久 英 二	小口(鶴)佐枝子	(高校42)
古 賀 義 昭	中村(川合)美津子	久保(荒木)富子	山 口 亮 栄	熊 井 隆 光	田 中 博	相 川 謙 二
秋吉成恭[故]	田 中 嘉 典	石 本 勝 昭	永 渕 俊 昭	匿名希望 1人	(高校29)	(高校43)
松 永 恵 司	木 下 謙 次	陣 内 由 晴	村 上 徹	(高校23)	雪 竹 稔	大串(中島)里津子
中島(福島)延子	(高校11)	七 田 義 孝	友 永 哲 三	南 里 信 幸	井手(音成)真喜子	熊 本 仁
徳 永 誠 行	野 口 武 男	永 尾 薫	堤 成太郎	柴田(塚原)春美	永 渕 弘	濱 村 宜 弘
天ヶ瀬 慶 彦	真 子 輝 雄	上野(高山)里代	手 塚 信 行	永 渕(原)幸子	土 橋 敬 治	松 本 智 弘
(高校7)	久 本 哲 義	釘本(江口)祥子	松永(藤岡)れい子	佐々木(三島)忍	(高校30)	(高校44)
吉 島 大 策	野口(城島)正子	田中(音成)和子	小 林 秀 昭	(高校24)	光岡(池田)知子	橋 本 敏
水 田 和 憲	関(鍵山)鈴子	中島(北村)要子	猪村(永石)三重子	岩 永 泰 三	吉 谷 弘	笠 原 昌 紀
佐村(福山)晴子	丸谷(田中丸)房子	中野(渕田)正人	匿名希望 1人	大 屋 周 三	(高校31)	田代(小川)慎二
和田(浜口)茂則	倉 永 寿 子	板垣(牛丸)修	(高校20)	井 手 英 喜	松 永 裕 子	(高校45)
(高校8)	井 上 通 正	真 島 照 男	盛口(山本)紀文	古 賀 正 人	(高校32)	松 尾 幸 樹
西 山 俊 幸	(高校12)	(高校16)	岸 川 宗一郎	森(土井)数子	大 坪 敏 郎	(高校51)
大 野 雅 央	鬼 塚 重 則	小 柳 忠 雄	岡 田 修 三	笠 原 浩 二	(高校33)	川 頭 裕 樹
大野(於保)富子	大 島 文 雄	高 木 靖 哉	南 里 種 司	藤 本 富 男	中 島 信 哉	(高校52)
公文(田代)益子	北 川 信 弘	古 賀 紀 昭	深 川 寛	(高校25)	(高校38)	波佐間(島田)里美
音 成 行 勇	平野(村口)多喜子	(高校17)	川原田 徳 治	平安寺 徹	野 田 益 弘	南 里 朋 美
古 川 正 人	江 口 尚 久	鈴 田 將 博	藤 川 秀 行	三 根 英 樹	(高校39)	
金子(日出島)京子	林 義 人	太田(中村)和美	本 村 光 節	工藤(古場)節子	東 島 純 一	
南川(田中)美登里	(高校13)	井手(村山)浩子	原田(野口)京子	川村(松永)久美子		
(高校9)	小 路 英 毅	大島(西原)厚子	南 里 一 夫	(高校26)		
金 丸 盛 登	藤 本 義 行	山 下 拓 治	江 口 幹 郎	小林(深堀)のり子		
匿名希望 1人	高 間 靖 治	池 田 功	石 田 直 人	橋本(笹川)秀子		
(高校10)	古川(永野)悠紀	加 藤(岡)翠	北 島 和 道	福田(鷲頭)智恵子		
大 石 太	永 山 重 隆	小 原 鶴 子	外 尾 美 好	川 副 春 海		
牟田口 博 司	貝通丸 明	田 中 善 吾	(高校21)	田 中 伸 子		
松本(深川)リエ子	樋 口 秀 利	林田(土井)聰子	田 中 政 敏	内 海 唯 史		
石山(北川)洋子	(高校14)	吉 田 紘二郎	福 地 孝 司	矢野(田中)律子		
岡 本 壽 夫	徳 勝 秀 俊	山 内 敏 博	田 原 泰 明	藤(大野)きみ子		
東(横田)佐久良	大塚(石丸)博子	(高校18)	本 村 豊	(高校27)		
松 枝 修 三	吉村(立石)アイ子	水田(平川)瑞子	中村(一ノ瀬)津多子	蒲原(山口)弘美		



旧制高女20回 林田(真子)恵美子様
1,000,000円

令和7年度黄城会役員一覧

▷会長＝古賀正人（高24）▷副会長＝徳久英二（高22）井手美保子（高28）安永正（高31）▷顧問＝高尾和範（校長）倉富美鈴（教頭）江里口和紀（事務長）▷理事＝川副富男（高5）佐々木昇三（高7）大野雅央（高8）金丸盛登（高9）牟田口博司（高10）真子輝雄（高11）小柳平一郎（高12）中尾久司（高13）青柳隆（高14）七田義孝（高

15）江里口勉（高16）松尾剛之（高17）村山龍彦（高18）江口武（高19）野田豊秋（高20）坂井正徳（高21）坂井一彌（高22）江里口秀次（高23）中山章（高25）川副春海（高26）横尾俊彦（高27）岡正幸（高30）伊東猛彦（高32）水田信（高33）松尾直人（高35）西岡聖師（高36）梶原聖司（高37）北島清孝（高38）香川弘行（高39）高塚誠（高40）森永

健一（高41）野田一彦（高42）西田亮（高43）瀧上史貴（高44）徳重隆仁（高45）吉次篤司（高46）梶原泰宏（高47）田中雅久（高48）上瀧賢治（高49）副島剛（高50）木下直登（高51）▷監事＝秋野和之（高28）雪竹稔（高29）真崎俊夫（高34）▷事務局長＝平安寺徹（高25）▷庶務＝千綿真由美▷会計＝大塚ちぐさ

支部役員一覧

【関東支部】▷支部長＝村上徹（高19）▷副支部長＝井手勇人（高31）▷幹事長＝井上勇次（高21）▷副幹事長＝於保啓子（高30）▷事務局長＝川副隆之（高32）

【中京支部】▷支部長＝力武勉（高17）▷副支部長＝梅谷雅和（高17）▷副支部長＝中嶋桂子（高25）▷事務局長＝堤淳（高40）▷事務局次長＝吉田了（高43）▷会計＝真子博行（高39）

【関西支部】▷支部長＝田中善吾（高17）▷副支部長＝南里種司（高20）▷副支部長＝新田安典（高22）▷事務局長＝岡本正史（高27）▷事務局次長兼

会計＝内田敏博（高20）▷会計監査＝村岡敏幸（高26）

【長崎支部】▷支部長＝中村嘉孝（高18）▷事務局長＝大石太（高10）

【福岡支部】▷支部長＝辻正人（高12）▷副支部長＝堺八千代（高25）▷幹事長＝古賀省吾（高26）▷副幹事長＝小林佐登子（高33）▷副幹事長＝音成芳和（高36）

【佐賀支部】▷支部長＝徳久英二（高22）▷副支部長＝金丸盛登（高9）▷副支部長＝中島栄子（高17）▷副支部長＝西山大作（高26）▷事務局長＝川内野寿氏（高30）

【唐津支部】▷支部長＝鮎川正博（高28）▷副支部長＝永瀨明則（高16）▷事務局長＝濱村宜弘（高43）

【多久支部】▷支部長＝藤田和彦（高16）▷副支部長＝大塚恭子（高19）▷副支部長＝古賀通雄（高23）▷副支部長＝江口光幸（高25）▷幹事長＝駄原博美（高27）▷事務局長＝川瀨理（高46）

【県庁支部】▷支部長＝井手宣拓（高39）▷幹事長＝高塚光明（高39）▷幹事長＝轟木直（高39）

令和6年4月～令和7年3月までの物故者（敬称略）

（回期）氏名〔住所〕

（旧中）

（43）大野 森一郎〔小城市〕

（高女）

（15）古瀬 久子〔那珂川市〕（22）藤川レイ〔杵島郡〕（23）坂井 静子〔小城市〕（23）吉田 菊江〔佐賀市〕（24）布上文枝〔佐賀市〕（27）横山 照子〔北葛城郡〕

（高校）

（2）市丸 和久〔熊本市〕（2）古賀 正孝〔川崎市〕（3）堤 憲治〔小城市〕（4）北島 一〔福岡市〕（4）高間 陽一〔小城市〕（4）山田 勝彌〔古賀市〕（5）堤

好則〔市川市〕（5）東島 章〔桐生市〕（5）松隈 新吾〔新座市〕（6）秋吉 成恭〔神戸市〕（6）柏丸 成之〔北九州市〕（6）小柳 新平〔稲城市〕（6）山田 勝泰〔藤沢市〕（6）吉村 久夫〔文京区〕（6）西 雅子〔久留米市〕（7）水田 勝則〔小城市〕（8）吉村 米子〔文京区〕（9）徳永 靖〔朝倉市〕（9）村岡 憲弘〔高座郡〕（11）稲益 一子〔久留米市〕（12）津城邦充〔小城市〕（13）矢代 豊則〔所沢市〕（15）福島 茲己〔多久市〕（15）酒井恭子〔杵島郡〕（16）末 泰彦〔横浜市〕（16）西岡 誠〔久留米市〕（17）石井

正徳〔多久市〕（17）馬場 喜幸〔福岡市〕（19）泉 繁雄〔多久市〕（19）木屋 守〔佐賀市〕（19）水田 政光〔小城市〕（19）岸川 幸代〔多久市〕（19）北島 国子〔佐賀市〕（21）田中 直美〔小城市〕（23）西村 義和〔佐賀市〕（24）坂井 敬彌〔佐賀市〕（24）前山 佳美〔多久市〕（25）田中 恵治〔東松山市〕（25）南里 満昭〔小城市〕（25）野中 周作〔多久市〕（26）深川 弘〔仙台市〕（29）藤島 潤典〔小城市〕（29）志田 三都子〔小城市〕（30）木戸 増己〔柏原市〕（36）篠原 一彦〔小城市〕

寄 付

（令和6年4月～令和7年3月）

一般寄付金	●高校30回生一同様	2,600円	●高校35回生一同様	1,700円
	●高校40回生一同様	1,900円	●高校26回生一同様（卒業50周年）	50,000円
	●関門・北九州支部様	44,167円	●高校5回故廣川幸子様	10,000円
	●高校5回故平野敏男様	10,000円	●小城高校長 高尾和範様	10,000円
	●中京支部有志一同様	11,000円	●関西支部有志一同様	32,807円
	●高校19回故木屋守様	20,000円	●多久支部様	5,000円
	●前小城高校長 牛島徹様	10,000円		

ご寄付いただきありがとうございます。

令和7年度 黄城会本会計予算書

(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

(収入)					(単位:円)	
No	費目	令和7年度	令和6年度	比較増減	備考	
1	会費	3,000,000	5,000,000	▲ 2,000,000		
2	入会金	2,109,600	2,116,800	▲ 7,200	在校生596名より入金金 (586人×300円×12月)	
3	会費寄付金	1,000,000	1,000,000	0		
4	一般寄付金	50,000	50,000	0		
5	雑収入	10,000	10,000	0	預金利息等	
6	繰入金	0	0	0		
7	繰越金	9,038,790	8,764,865	273,925	前年度より	
合 計		15,208,390	16,941,665	▲ 1,733,275		

(支出)					(単位:円)	
No	費目	令和7年度	令和6年度	比較増減	備考	
1	会報発行費	700,000	700,000	0		
2	黄城会入会費	240,000	120,000	120,000	卒業生への記念品代	
3	支部活動助成費	160,000	178,000	▲ 18,000	全国8支部へ	
4	回期活動助成費	50,000	45,000	5,000	高27回～高52回の各回期へ	
5	会費徴収費	1,800,000	1,800,000	0	会費・会員寄付金案内書、振込手数料	
6	会議費	250,000	250,000	0	理事・監事会、評議員会	
7	母校職員援助費	20,000	20,000	0	職員献送迎会祝儀	
8	支部関係渉外費	900,000	900,000	0	支部総会祝儀等、総会時支部来佐旅費	
9	慶弔費	50,000	50,000	0	卒業50周年記念品代料ほか	
10	(一財)黄城教育会館	5,000,000	3,000,000	2,000,000	黄城教育会館の運営費(トイレ改修費、下水道移工事費)	
11	基本金	1,000,000	1,000,000	0		
12	運営積立金	50,000	50,000	0		
13	名簿積立金	50,000	50,000	0		
14	退職給与積立金	50,000	50,000	0		
15	消耗品費	100,000	100,000	0	PCトナーカートリッジ、事務用文具代等	
16	通信費	300,000	300,000	0	電話料、郵送料、インターネット回線利用料等	
17	事務委託費	300,000	300,000	0	システム開発	
18	賃借料	440,000	440,000	0	PCソフトリース、メンテナンス料	
19	雑費	200,000	200,000	0	学生支援金、小域高校卒業アルバム	
20	予備費	50,000	50,000	0		
合 計		11,710,000	9,603,000	2,107,000		
次年度繰越金		3,498,390	7,338,665	▲ 3,840,275		

令和6年度黄城会本会計決算書

(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

(収入)					(単位:円)	
No	費目	当初予算額	収入額	比較増減	備考	
1	会費	5,000,000	2,626,000	▲ 2,374,000	会員937口より(令和6年度納入分)	
2	入会金	2,116,800	2,084,400	▲ 32,400	在校生579人より	
3	会費寄付金	1,000,000	2,765,000	1,765,000	会員201口より	
4	一般寄付金	50,000	221,574	171,574	卒業50周年(前2650,000円、開門・北九州支部 44,167円、故木屋守氏(前1920,000円、関西支部 32,807円)	
5	雑収入	10,000	6,372	▲ 3,628	預金利息等	
6	繰入金	0	0	0		
7	繰越金	8,764,865	8,764,865	0	前年度より	
合 計		16,941,665	16,468,211	▲ 473,454		

(支出)					(単位:円)	
No	費目	当初予算額	支出額	比較増減	備考	
1	会報発行費	700,000	585,816	114,184	10,135部	
2	黄城会入会費	120,000	110,050	9,950	卒業生への記念品代	
3	支部活動助成費	178,000	177,100	900	全国8支部へ(1,056人分)	
4	回期活動助成費	45,000	44,900	100	高26回～高51回の各回期へ(449人分)	
5	会費徴収費	1,800,000	1,571,464	228,536	会費・会員寄付金案内書、振込手数料	
6	会議費	250,000	153,317	96,683	理事・監事会、評議員会	
7	母校職員援助費	20,000	0	20,000		
8	支部関係渉外費	900,000	851,655	48,345	支部総会祝儀等、総会時支部来佐旅費	
9	慶弔費	50,000	20,000	30,000	卒業50周年記念品料	
10	(一財)黄城教育会館	3,000,000	3,000,000	0	(一財)黄城教育会館へ運営費として	
11	基本金	1,000,000	0	1,000,000		
12	運営積立金	50,000	50,000	0		
13	名簿積立金	50,000	50,000	0		
14	退職給与積立金	50,000	50,000	0		
15	消耗品費	100,000	77,668	22,332	PCトナーカートリッジ代、事務用文具代	
16	通信費	300,000	244,016	55,984	電話料、郵送料、インターネット回線利用料等	
17	事務委託費	300,000	0	300,000		
18	賃借料	440,000	409,200	30,800	PCソフトリース、メンテナンス料	
19	雑費	200,000	34,235	165,765	小域高校部活動支援金、小域高校卒業アルバム	
20	予備費	50,000	0	50,000		
合 計		9,603,000	7,429,421	2,173,579		
次年度繰越金		7,338,665	9,038,790	1,700,125		

令和7年度(第14期)一般財団法人黄城教育会館予算書

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

科	目	令和7年度予算	令和6年度予算	備	考
I	一般正味財産増減の部				
1.	経常増減の部				
(1)	経常収益				
	基本財産運用益	1,000	5,000		
	基本財産受取利息	1,000	5,000		基本財産定期預金利息
	事業収益	100,000	100,000		
	会館使用料	100,000	100,000		
	受取補助金等	7,460,000	5,430,000		会館使用料、エアコン使用料
	運営費補助収入	7,460,000	5,430,000		黄城会(500万)、同窓会館維持費(246.1万)
	雑収入	6,000	6,000		
	受取利息	1,000	1,000		預金利息
	雑収入	5,000	5,000		
	経常収益計	7,567,000	5,541,000		
(2)	経常費用				
	事業費	1,440,000	1,440,000		
	奨学助成費	1,440,000	1,440,000		小城高等学校奨学生(12名)
	管理費	10,950,000	8,575,000		
	給料手当	2,700,000	2,600,000		職員2名分
	法定福利費	35,000	30,000		雇用保険料
	消耗品費	340,000	340,000		文具代、コピー機リース料、コピーカウント料
	燃料費	120,000	120,000		白灯油代
	光熱水費	1,000,000	1,000,000		電気料、水道料
	修繕費	2,400,000	100,000		トイレ改修、下水道移行工事等
	通信運搬費	35,000	35,000		郵送料
	手数料	20,000	20,000		水質検査手数料
	賃借料	30,000	30,000		会館敷地使用料
	委託費	900,000	900,000		警備、電気保安、浄化槽管理等
	登記料	80,000	80,000		変更登記料
	火災保険料	170,000	160,000		
	減価償却費	3,110,000	3,150,000		
	雑費	10,000	10,000		
	経常費用計	12,390,000	10,015,000		

当期経常増減額	▲ 4,823,000	▲ 4,474,000
---------	-------------	-------------

令和6年度(第13期)一般財団法人黄城教育会館正味財産増減計算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

科	目	令和6年度予算	令和6年度決算	備	考
I	一般正味財産増減の部				
1.	経常増減の部				
(1)	経常収益				
	基本財産運用益	5,000	341		
	基本財産受取利息	5,000	165,900		基本財産定期預金利息
	事業収益	100,000	165,900		
	会館使用料	100,000	165,900		光熱水費使用費分
	受取補助金等	5,430,000	5,493,750		
	運営費補助収入	5,430,000	5,493,750		黄城会、同窓会館維持費
	雑収入	6,000	796		
	受取利息	1,000	796		預金利息
	雑収入	5,000			コピー料
	経常収益計	5,541,000	5,660,787		
(2)	経常費用				
	事業費	1,440,000	1,440,000		
	奨学助成費	1,440,000	1,440,000		小城高等学校奨学生(12名)
	管理費	8,575,000	8,154,694		
	給料手当	2,600,000	2,760,435		職員2名分
	法定福利費	30,000	31,904		雇用保険料
	消耗品費	340,000	272,183		文具代、コピーカウント料等
	燃料費	120,000	59,316		ガス代、白灯油代
	光熱水費	1,000,000	757,188		電気料、水道代
	修繕費	100,000	53,790		通用ロドア、トイレ蛍光灯修理代
	通信運搬費	35,000	11,506		郵送料
	手数料	20,000	19,000		水質検査手数料、防火管理者講習料
	賃借料	30,000	24,580		会館敷地使用料
	委託費	900,000	813,450		警備、電気保安、浄化槽管理等
	登記料	80,000	48,555		
	火災保険料	160,000	156,520		
	減価償却費	3,150,000	3,146,267		
	雑費	10,000			
	経常費用計	10,015,000	9,594,694		

当期経常増減額	▲ 4,474,000	▲ 3,933,907
2. 経常外増減の部		
(1) 経常外収益	0	0
経常外収益計	0	0
(2) 経常外費用	0	0
固定資産除売却損	0	0
経常外費用計	0	0
当期経常外増減額	0	0

当期一般正味財産増減額	▲ 4,474,000	▲ 3,933,907
一般正味財産期首残高	0	128,446,200
一般正味財産期末残高	0	124,512,293
II 指定正味財産増減の部		
当期指定正味財産増減額	0	0
指定正味財産期首残高	0	0
指定正味財産期末残高	0	0
III 正味財産期末残高	0	124,512,293

「会費」及び「会員寄付金」納入のお願い

記

会費のご案内	会員寄付金のご案内
※終身会費納入済みの方、5年会費納入済みの方で5年経っていない方及び今年度 に会費を納入されている方を除きます。	※今年度に会員寄付金を納入されてい る方を除きます。
①会費の区分 1年会費 2千円 5年会費 1万円 終身会費 5万円	①寄付の金額は任意でお願いしておりま すので、ご寄付いただく金額をご記入 のうえ、『ゆうちょ銀行（郵便局）』から 振り込みをお願いします。
②会費の振込金融機関 1年会費（2千円）は、最寄りの『ゆうちょ銀行（郵便局）又はコンビニ』 から振り込みをお願いします。 5年会費（1万円）又は終身会費（5万円）を振り込んでいただけると きは、振込金額を訂正していただいたうえで『ゆうちょ銀行（郵便局）』 から振り込みをお願いします。 ※振込手数料は黄城会が負担します。 ※近隣にお住まいの方は、黄城会事務局に直接持参いただければ、経費の節約ができます。 ※『自動払い込み（口座振替）』にご協力いただける方には、手続きの書類を送らせ ていただきますのでご連絡ください。	②ご寄付いただいた方にはお礼状をお届 けするとともに、当年度の寄付者名を 翌年発行する会報誌上に掲載し、お礼 を申し上げます。 ※振込手数料は黄城会が負担します。 ※近隣にお住まいの方は、黄城会事務局に 直接持参いただければ、経費の節約がで きます。

「会費」及び「会員寄付金」の納入状況

【会 費】

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
口 数	1,083口	987口	937口
金 額	2,966,000円	2,540,000円	2,626,000円

【会員寄付金】

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
口 数	267口	241口	201口
金 額	2,372,837円	2,724,827円	2,765,000円

『回期たより』回期たよりを作成された卒業回期の方に同封しています。ご覧ください。

お知らせ

令和7年度 支部総会予定日

予定の変更があれば、その都度黄城会のホームページに掲載しますのでご確認ください。

支部名	予定日	氏名	電話
関東	令和7年 8/31(日)	支部長 (高19) 村上 徹	090-3084-6866
中京	令和7年 9/20(土)	事務局長 (高40) 堤 淳	090-1728-1894
関西	令和7年 9/21(日)	事務局長 (高27) 岡本 正史	090-1021-4271
福岡	令和7年 10/25(土)	幹事長 (高26) 古賀 省吾	090-8669-4023
佐賀	令和7年 11/22(土)	事務局長 (高30) 川内野寿氏	090-8410-1054

支部名	予定日	氏名	電話
県庁	未定	幹事長 (高39) 高塚 光明	唐津土木事務所 0955-73-2861
		幹事長 (高39) 轟木 直	佐賀土木事務所 0952-24-4348
長崎	令和7年 10/19(日)	事務局長 (高10) 大石 太	090-6774-1144
唐津	令和8年 2/1(日)	事務局長 (高43) 濱村 宜弘	080-1725-4591
多久	令和8年 2/8(日)	事務局長 (高46) 川淵 理	090-1083-5846

小城高校×PICFA 壁画プロジェクト

～卒業生の皆様のご支援をお願いいたします～

小城高校の生徒たちが、「PICFA」の障害のあるアーティストの方々と
ともに、昇降口に巨大壁画を描くプロジェクトに挑戦しています。壁画
には「誰もが自分らしく輝ける社会をつくりたい」という願いが込めら
れています。

共生社会の実現を目指すこの取り組みを、黄城会も応援しています。
後輩たちの挑戦に、ぜひご支援をお願いいたします。

クラウドファンディングは6月20日(金)から8月20日(水)まで、クラウドファ
ンディングサイト「Yellz」にて実施中。詳細は、Yellz のサイトをご覧ください。

URL: <https://yellz.jp/detail/410008/project/312/>



お知らせ

今後、黄城会の会報郵送をご希望されない場合は、お手数ですが下記にご連絡をお願いいたします。
電話 (0952) 72-7128 メール oiyokai@galaxy.ocn.ne.jp